

第七十六回帝國議會
議院

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件

委員會會議錄(速記)第三回

付託議案

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)(第一號)
昭和十五年法律第七號中改正法律案(沿幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新築擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)(第二號)

會議

昭和十六年一月二十七日(月曜日)午前十時
十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 松田 正一君

理事宇賀 四郎君 理事樋口善右衛門君

理事駒井 重次君 理事高島龜太郎君

小野 謙一君 大橋清太郎君

坂田 道男君 世耕 弘一君

田村 秀吉君 津原 武君

塚本 重藏君 朴 春 琴君

星 一君 森 肇君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 廣瀨 豐作君

大藏省理財局長 竹内 新平君

預金部資金局長 中村孝次郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十六年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和十五年法律第七號中改正法律案(造幣局東京出張所ノ廳舎、工場其ノ他ノ建物及其ノ附屬設備ノ新築擴張ニ要スル經費ニ關スル件)(政府提出)

○松田委員長 前會ニ引續キマシテ開會致シマス、今日カラ質問ヲ許スコトニナツテ

居リマス、通告ガアリマスノデ之ヲ許シマス——世耕弘一君

○世耕委員 私ハ簡單ニ數點御尋ネ致シタ

イト思ヒマスガ、簡單デアリマスカラ簡條

的ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、先ヅ第一ニ最近ノ公債消化ノ狀況ニ付テ御尋ネ致シマス

○廣瀨政府委員 御承知ノヤウニ昭和十四年中ニ於キマシテハ、公債ノ消化ハ八九%

ト云フ好成績ヲ舉ゲタノデアリマス、昭和十五年ニ於キマシテハ、其ノ上半期ニ於キ

マシテハ極メテ順調ナル消化狀況ヲ迪ツテ

參ツタノデアリマスルガ、下半期ニ於キマシテハ其ノ消化狀況ガ稍、鈍化致シタノデア

リマス、是ガ原因ハ色々ノ點ガ舉ゲラレ得

ルノデアリマスガ、主トシテ國際情勢ノ變化ニ伴ヒマシテ、貿易ノ進展ガ少シクナ

カツタト云フヤウナコト、ソレカラ銀行預

金ノ増加等ガ一時是モ鈍リマシタト云ツ

タヤウナコト、尙ホモウ一ツ大キナ原因ト

致シマシテハ、政府資金ノ支拂ト云フコト

ガ若干時期的ニ遲延致シタノデアリマス、

是等ノ原因ニ依リマシテ、資金ノ還流ト申

シマスルカ、還流ガ稍、圓滑ヲ缺キマシタ

結果、公債消化方面ニ於キマシテモ其ノ影響

ヲ受ケマシテ、良好ナル成績ヲ舉ゲ得ルコ

トガ出来ナカツタノデアリマス、其ノ結果、

昭和十五年末ニ於キマシテハ、十四年ニ比

較致シマシテ、相當成績ガ低下致シマシテ、

「パーセンテージ」デ申シマスルト、七八・六%

ト云フ結果ニナツタノデアリマス、併シ

ナガラ先程モ申シマシタ如ク、政府資金ノ

撒布ニ付キマシテハ、一時御存ジノヤウニ

昭和十五年上半期ニ於キマシテハ、一種ノ通貨膨脹氣分ト申シマスカ、サウ云ツタヤ

ウナ觀點カラ致シマシテ、政府資金ノ撒布

ガ急激ニ過ギルト云フ輿論ト申シマスカ、

一部ノ聲モアリマシタノデ、政府ノ方デハ

相當之ヲ抑ヘルト云フ態度ニ出タノデアリ

マス、其ノ政府ノ方針ガ大體昨年ノ八、九月

頃マデ影響ヲ及ボシタノデアリマスルガ、

イザ抑ヘルト云フコトニナリマスルト、又

其ノ影響ガ強ク現ハレマスノデ、之ニ對シ

マシテ政府ハ相當更ニ緩和ヲスルト云フ方

針ヲ執ツタノデアリマス、其ノ結果ガ十月

末カラ現ハレマシテ、十月末以後ハ銀行預

金ハ漸次増加ヲ致シマシタ、十一月ニ於テ

ハ殆ド前年同期以上ノ狀態ニ復シタノデア

リマスルガ、十二月ニ入リマシテカラ、更

ニソレガ非常ト増加ト相成リマシテ、其ノ

結果此ノ年末ノ金融ハ非常ニ緩漫トナリ、

更ニ本年ノ一月ニ入リマシテカラハ、國債

ノ消化ト云フモノハ急激ニ好クナリマシテ、本

年ノ一月十日ノ現在ニ於キマシテハ八三・三%

ト云フ成績ヲ示シタノデアリマス、デアリマス

カラシテ、少クトモ昭和十五年ノ問題ニ付キ

マシテハ、單ニ年末ノ狀況ヲ抑ヘルト云フダケ

ホ最近ニ於キマシテハ引續キ銀行資金ノ方面ニ於キマシテモ、郵便貯金ノ方面ニ於キマシテモ、順調ナル經過ヲ迪ツテ居ル次第デアリマス、隨ヒマシテ國債消化ニ於キマシテモ此ノ狀態ニ於キマシテハ、サシタル惡化ヲ來スコトハアルマイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○世耕委員 次ニ御尋ネ致シタイコトハ、國民所得額ヲドノ程度ニ抑ヘテ居ルカ、政府ハ百億貯蓄並ニ二百億貯蓄ト云フコトヲ目標ニ進ンデ居ラレルヤウデアリマスガ、第一ニ國民所得額ヲドノ程度ニ抑ヘテ、此ノ標準ガ出テ居ルカト云フコトヲ御尋ネ致シマス

○廣瀨政府委員 國民所得ノ額ノ算定ニ付キマシテハ、是ハ非常ニ複雑ナ議論モアリマシテ、政府ト致シマシテモ、此ノ國民所得額ニ付テハツキリシタ數字ヲ政府カラ申上ゲルト云フコトハ、從來モ差控ヘテ居ツタカト思フノデアリマス、大體ノ考ヘ方ト致シマシテハ、物資ガ窮乏ニナルト云フコトニナリマスレバ、隨テ生産ガ減退スル、生産ガ減退スルト云フコトニナレバ國民所得ハ隨テ減退スルデアラウ、斯ウ云ツタヤウナ考ヘ方カラ致シマスレバ、昭和十五年ニ比較シマシテ、昭和十六年、即チ本年ハ物資ガ豐富ニナルト云フコトハ申シ難イノデアリマス、隨ヒマシテ生産額ト云フモノハ、其ノ考ヘ方カラ致シマスレバ減退セザルヲ得ナ

イ、隨ヒマシテ國民所得ト云フモノモ減退セザルヲ得ナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、併シナガラ吾々ノ考ヘト致シマシテハ、斯ウ言ツタヤウナ時代ニ於キマシテハ、從來ノヤウナ考ヘ方ダケデ行クベキデアルカドウカ、即チ物ト云フモノガ少クナリマシテモ、之ニ對シテ國民ノ精神力或ハ活動力ト云フモノヲ増加スル、或ハ能率ヲ高メルト云フコトニ依リマシテ、假令物其ノモノガ少クナリマシテモ、或ル程度ノ生産増加ト云フモノハ是非トモヤラナケレバナラヌト思ヒマス、サウ致シマスレバソコニ國民所得ノ増加ト云フモノモ期待シ得ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ單ニ物ノ分量ト云フコトカラ致シマスレバ、算術的ニハ或ハ國民所得ト云フモノハ理論的ニ減少スルト云ツタヤウナ聲ガ出ルカモ知レマセスガ、吾々ハソレヲ突破致シマシテ、物ガ減ツテモ生産ハ増加スル、國民所得モ増加サセルト云フ方向ニ向ツテ進ミタイ、斯ウ云フヤウニ只今考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○世耕委員 只今ノ御説明ニ依ツテ明瞭ト云フ譯ニハ行キマセスガ、國民所得ノ増加ニ對スル政府ノ御考ヘノ一端ヲ伺フコトガ出來テ、私ハ非常ニ愉快ニ感ズルノデアリマス、是ハ「ドイツ」其ノ他ノ新興國ニ於テモアルヤウデアリマスガ、物資不足ヲ補ハナクテハナラヌ、物ノ不足ヲ補ツテ行カナクテハナラヌ、事變下ニ於テ物ノ増産ガ一番大切デアアル、併シナガラ物ヲ作ルノハ誰カ、人間デヤナイカ、其ノ人間ガ力強イ働キヲスルノハ、即チ力強イ意思ノ力デナクテハナラヌ、精神力デナクテハナラヌ、所ガ其ノ精神力ヲ盛リ起スヤウニ政府ノ政策

ガ今日行ハレテ居ルカドウカト云フコトハ、私ハ疑問ナノデス、今日ノ經濟界ヲ必ズシモ萎靡沈滞トハ言ウテ居リマセヌケレドモ、或ル程度ノ不平不滿ヲ持ツテ産業ニ從事シテ居ル人ガ多カラウト私ハ思フノデアリマス、結局物ノ増産ハ人ニ依ツテナサレル、人ハ其ノ精神力ニ依ツテ動クノデアリカラ、精神力サヘ旺盛デアレバ、必ズ物ノ増産ハ確保サレルト云フコトヲ吾々ハ信ジテ居リ、「ドイツ」アタリデモソレヲ強調致シテ居リマス、御承知ノ通り「ヒトラ」ガ天下ヲ取ツテ以來ノ「ドイツ」ハ貿易ガ盛ンデアアル、物ガ殖エタト云フガ、ソレニ依ツテ今日ノ「ドイツ」ガ出來上ツタノデハナインデアリマス、原動力ハ何カト云フト、精神力ヲ振興セシメルコトニ基礎ヲ置イタト云フ點ニアルコトハ言フマデモナイノデアリマス、所ガ政府ノ是マデノ諸政策ノ多クハ、國民ノ精神力ノ振興ヲ圖ルト云フヨリモ、寧ロ末梢ニ囚ハレテ、却テ國民ニ其ノ潑刺タル氣分ヲ起サセルコトヲ阻碍シタ幾多ノ實例ヲ持ツノデアリマス、所ガ幸ヒ只今ノ御説明ニ依ツテ、政府ノ意ノアル所ヲ承ツテ非常ニ愉快ニ感ズルノデアリマスガ、ドウカ其ノ點ヲ資金調整ノ方法ニ依リマシテ、物價ノ調整ニ依リマシテ、又公定價格設定ノ上ニ於キマシテモ、能ク其ノ人心ノ機微ヲ捉ヘルヤウニ一ツ細心ノ御考慮ヲ願ヒタイト云フコトヲ特ニ御願ヒスル次第デアリマス、尙ホ一點、先ニ御尋ネシタ中デ落チテ居ツタヤウニ思ヒマスガ、政府ハ百億乃至二百億ノ貯蓄獎勵ヲヤツテ居リマスガ、其ノ目安ヲ何處ニ置カレタカ、差支ヘナイ範圍デ一ツ御説明願ヒタイと思ヒマス

○廣瀨政府委員 只今ノ御尋ネハ、國民貯蓄獎勵ノ目標ヲ何處ニ置イタカト云フ御尋ネカト思ヒマスガ、昭和十五年度ノ貯蓄獎勵ノ目標ハ、御承知ノヤウニ百二十億ヲ目標ニ致シテ居ルノデアリマスガ、昭和十六年度ノ貯蓄獎勵ノ目標ハ、今日未ダ政府ニ於テハハッキリ決定致シテ居ラナイノデアリマス、ソレハ申スマデモナク最近ノ臨時軍事費ノ追加豫算ト云フモノガ未ダ決定致シマセヌシ、又十六年度ノ各省ノ追加豫算モ未ダ決定致シテ居リマセヌ、隨ヒマシテ十六年度中ニ於ケル政府歳出ノ全貌ト云フモノガ分ラナイノデアリマス、分ラナイト申シマスカ確定致シマセヌノデ、此ノ重大要素デアアル所ノ政府ノ事業、政府ノ資金撤布ガ決定致サナイ時期ニ於テハ國民貯蓄ノ目標額ハ定メ難イト云フ爲メ、今日ニ於テハ未ダ決定致シテ居ラスコトハ御承知ダト思ヒマス、併シナガラ是モ數日乃至遅クトモ一、二週間ノ内ニハ決マラナケレバナラヌ筋合ノモノデアリマスカラ、其ノ際ニハ申上グルコトガ出來ルト思ヒマスガ、十五年度ノ貯蓄目標ニ付キマシテハ、前議會ニ於テ既ニ論議サレタコトト存ジマスガ、御承知ノヤウニ十五年度ノ貯蓄目標ハ百二十億デアリマスガ、十五年度ノ國債ノ發行額ガ其ノ當時ニ於テハ大體六十億ト豫定サレタノデアリマス、其ノ六十億ノ國債ヲ消化スル外ニ、生産力擴充關係ノ資金ガ約四十億要ルノデアリマス、サウスルト、此ノ生産力擴充資金ノ消化ガ必要デアルノデ、六十億「プラス」四十億、即チ百億ガ要ルノデアリマスガ、更ニ之ニ加ヘマシテ通貨膨脹ノ現象ガ起ツテ居リマシタノデ、其ノ結果日本銀行ノ手持國債ガ其ノ當時「二十一、三億乃至

二十四、五億位アツタカト思ヒマス、是ハ昨年ノ初メ頃ノ話デアリマスガ、此ノ手持公債ノ減少ヲ圖ルコトモ含メマシテ、日本銀行ノ兌換券ヲ購買力ヲ少クトモ二十億ハ吸收シヨウト云フ建前ノ上カラ致シマシテ、合計百二十億ト云フ貯蓄目標ガ成立ツタ譯デアリマス、十五年度ハ其ノ目標ノ下ニ今日進ンデ居ル次第デゴザイマス

○世耕委員 尙ホ參考ノ爲メ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、既定經費ノ節減繰延減少額ハ合計九億二千六百餘圓トナツテ居リマシテ、新規經費ノ計上ニ付テハ内譯ノ御説明ガアリマシタガ、此ノ既定經費ノ節減繰延減少額ノ主立ツタモノダケデモ、數字ガ分リマシタナラバ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 只今資料ヲ持ツテ居リマセヌノデ、細目ニ付テハ直チニ申上ガ兼ネマスガ、九億幾ラノ中、陸海軍關係ノモノニ於キマシテ先ヅ約半分程度ノモノガ、ソレハ完全ナル繰延モアリマスガ、又一部ハ臨時軍事費ノ方デ賄フト云フ筋合ノモノモアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ先ヅ約半分ハ陸海軍關係ノモノデアルト云フコトヲ御諒承願ヒタイ、アトノ分ハ各省所管ノ分デアリマシテ、更ニ何レ申上ガマスケレドモ、軍部以外ノ各省ノ中デハヤハリ物ノ關係ヲ睨合ヘマシテ内務省ノ土木費關係、逓信省關係、農林省關係或ハ大藏省ノ營繕關係、斯ウ云ツタヤウナ方面ノ繰延ベガ多イノデアリマス

○世耕委員 更ニ御尋ネ申上ゲタイコトハ、金融關係方面ノ公債ノ保有高ガ、御手許ニ於テ若シ御分リデアリマシタラ御伺ヒ致シタイ、モウ一ツハ今後ノ公債消化ノ方法ニ

付テ、政府ハドウ云フ根本方針ヲ御持チニ
ナツテ居ラレカト云フ點ニ付テ御伺ヒ致
シタイと思ヒマス

○森(警)委員 一寸御答ヘノ便宜上關聯シ
テ一二御尋ネ致シタイと思ヒマス、只今世耕
君カラノ一二御質問ニ對シテ政府ノ答辯
ガアリマシタガ、世耕君ノ御質問ニ對シテ
モウ少シ違ツタコトヲ伺ヘルカト思ツテ居
ツタ、所ガソコニ觸レナカッタヤウデアリマ
スカラ、簡單ニ御質問申上ゲマス、一ツハ
公債ノ消化ノ率ヲ御示シニナリマシタ計數
調ベハ、直グ御分リデアリマセウカラ便宜上
御尋ネ致シマス、十五年ニ於テ年末ノ消化
ノ殘リノ數字ガ何程デアツタカ、「パーセン
テージ」ガ分ツテ居リマスカラ、本ハ直グ
分リサウナモノデアリマス、ソレカラモウ
一ツハ十五年度ニ於テ百二十億ヲ目標ニ貯
蓄ヲ獎勵シタト云フ御話デアリマス、ソレ
ハ今進行中デアリマスカラ、ドウ云フ結果
ニナルカト云フコトニ付テハ茲ニ御尋ネ致
シマセヌガ、百二十億ダケハ國民ニ向ツテ
貯蓄ヲ求メテ宜イト、政府ガ算盤ヲ御採リ
ニナツタニ付テハ、國民ノ力ガ大體御分リ
ニナツテコトデナケレバナラス、國民
ノ力ガ御分リニナツテ、其ノ幾割ヲ貯蓄ト
シテ徵シヨウト云フ考ヘ方百二十億ト御
定メニナツタカ、今ノ御答ヘハ、是ダケノ金
ガ要ルカラ此ノ貯蓄ヲ獎勵シタト云フコト
デアリマスカ、ソレダケノ貯蓄ニ堪ヘルト
云フ目安ハ何處デ御立デニナツタカ、御示
シガ出來レバ伺ヒタイ

ス、ソレハ十五年末ニ於キマシテハ三十六
億三千餘萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、
是ガ先程申上ゲマシタヤウニ、一月一日カ
ラ十日マデノ間ニ相當減少致シテ居リマス、
ソレカラ國民貯蓄ノ目標ヲ立テタニ付テ、
ドレダケヲ消化ニ向ケ、國民ノ消費生活ト
申シマスカ、消費ノ方面ニドレダケ向ケル
ト云フ割合ヲ見テ、アア云フ目標ヲ立テタ
カ、斯ウ云フ御尋ネデアツタと思ヒマス、
是ハ大體昨年マデノ所ニ於キマシテハ、國
民ノ所得高ガ漸次増加致シテ居ルノデアリ
マス、ソレニ對シマシテ國民消費高ノ絕對
額ハ餘リ減ラナイト云フ——是ハ目標ニシ
タ譯デハアリマセヌ、結果ニ於テサウ云フ
コトニナツテ居リマス、唯物價關係其ノ他
ヲ考慮致シマスト、絕對額ガ減ラナイト
云フコトハ、或ル程度ノ消費生活ノ壓縮ト
申シマスカ、サウ云フコトガ考ヘラレルノ
デハナイカ、サウ云フ風ニ考ヘマズレバサ
ウ云フコトニナルト思ヒマスガ、國民ノ所
得ガ漸次増加スルト云フ大體ノ計算デアリ
マスノデ、國民貯蓄ノ目標高ガ或ル程度増
加致シマシテモ、殘分ハソソナニ變ラナ
イ、斯ウ云フ考ヘ方デアリマス、尙ホ國民
貯蓄ノ目標ヲ定メマスニ付キマシテハ、大
體ニ於テ國民ノ資金蓄積ガドレ位ニナルデ
アラウカト云フコトヲ一方ニ於テ調査ヲ致
スノデアリマス、是ハ今日御承知ノヤウニ
我ガ國ニ於キマシテハ、何等強制貯蓄ト云
フ方法ハ執ツテ居ラスコトハ御承知ダラウ
ト思ヒマス、隨テ各金融機關其ノ他ノ資金
吸收機關カラハ、大體來年度ト申シマス
カ、其ノ年ニ於ケル翌年度ノ資金ノ増加見込
ヲ取リマシテ——是ハ詰リ強制セザル狀態
ニ於テノ資金増加ノ見込ヲ取リマシテ、ソレ

ヲ基礎ニ致シマシテ、此ノ程度ノ資金蓄積
ハ出來ルダラウ、隨テ其ノ資金蓄積ニ對シ
テドレダケノモノヲ消化スルト云フ方法ヲ
執ツテ今日マデ來テ居ル譯デアリマス、デ
アリマスカ其ノ意味ニ於キマシテモ此ノ資
金ノ目標ヲ立テマスノニ、大體ハ何ト申シ
マスカ、租稅デ申シマスレバ自然増加ト申
シマスカ、自然増加ノ情勢ニ應ジテ貯蓄
目標ハ立テラレテ居ルト云フコトヲ申上ゲ
テ差支ヘナイヤウニ思フノデアリマス

○森(警)委員 モウ一應御尋ネシタイ、私
ハ恐ラクハ大藏省ニハ國民ノ富力ト云フ
カ、所得高ト云フモノノ御見込ガアルダラ
ウト思ヒマス、是ハ昨年ノ春ノ委員會デモ
大分問題トナツタヤウデアリマスガ、時ノ大
藏大臣ハ遂ニ御答ヘガナカッタ、依然トシ
テ昨年以來ハ國民ノ所得額ニ對スル推算ト
云フモノヲ示サレナイ方針ニナツテ居ルト
云フコトニ諒解スベキデアリマセウカ、其
ノ點ヲ御尋ネシタ譯デアリマス、唯國ニ於テ
金ガ要ルカラ、ソレニ對シテ貯蓄サセヨウ
ト思ツテ居ルノダト云フコトデハ、何モ的
確ナモノヲ伺フ譯ニ參ラナイ、御示シナ
レマスカ、ナレマセヌカ、ソレダケ伺ヒマ
ス

○廣瀨政府委員 是ハ計算ノ方法ガ色々ア
リマシテ、ソレニ付テハ色々議論ノ餘地モア
リマスノデ、是ト云フハツキリシタモノヲ
御示シスルコトハ、先ヅ謂ハバ政府ノ優權
的數字ト申シマスカ、ソレハドウモ申上ゲ
兼ネルト云フ意味合ニ於キマシテ、昨年カラ
モ申上ゲナイデ居ルノデアリマス、本年モ
同様ノ譯合デアリマシテ、ソレニ先程世耕
君ノ御尋ネニ御答ヘ致シマシタヤウニ、
國民所得ト云フモノハ必ズシモ現在アルモ
ノデアルトカ、或ハ其ノ他ノモノニ或ルモ
ノヲ掛ケタ算術的ナ答ヘダケデ出來ルモノ
デヤナイト云ツタヤウナ考ヘ方モアリマス
ノデ、ソレ等ノ點ヲモ考ヘ合ハセマシテ、
先ヅ申上ゲナイコトニ致シタイト存ジテ居
ル次第デアリマス

○森(警)委員 ハツキリ分リマセヌケレド
モ、此ノ位デ……

○竹内(新)政府委員 御尋ネノ金融機關ノ
現在國債保有量ニ付テ申上ゲマス、先ヅ銀
行方面ニ於キマシテ、是ハ普通銀行ト特殊銀
行、貯蓄銀行トヲ含ンデ居リマス、十五年末ガ
三百十一億、是ハ預金デアリマシテ、ソレ
ニ對シテ九十六億二千三百萬圓、ソレカラ
次ニ信託會社ノ金錢信託ニ對スル國債ノ保
有額ハ三億萬圓ニナツテ居リマス、ソレ
カラ生命保險會社ノ責任準備金ニ對スル國
債保有額ハ、是ハ十五年ノ十月末デアリマ
シテ、決算ノ關係上ソレ以後ノ數字ハ採レ
マセヌガ、九億七千七百萬圓ニナツテ居リ
マス、以上ガ大體民間ニ於ケル主タル金融
方面ノ持ツテ居ル國債ノ保有額デアリマス
更ニ政府關係ノ資金ニ依ル國債保有額ヲ
申上ゲテ置キマス、是ハ預金部、簡易生命
保險積立金、郵便年金等ヲ含ンデ居リマス
ガ、大體七十九億五千二百萬圓ニナツテ居
リマス、是ハ大體ト申シマスルノハ、特別
會計ノ中ニマダ正確ニ計算ノ出來ナイ部分
ガゴザイマスノデ、概計トシテ七十九億五千
二百萬圓ニナツテ居リマス、更ニ國有鐵道ノ
共済組合トカ、其ノ他ノ共済組合ノ保有シテ
居ルモノガ二億二千九百萬圓デアリマシテ、
之ヲ合計致シマスト、八十一億八千二百
萬圓ニナリマシテ、前年末ニ對比致シマス
レバ二十二億二千八百萬圓ノ増加ニナツテ

居リマス、大體以上デアリマス

○廣瀨政府委員 先程世耕サンカラ、國民貯蓄ヲ獎勵スル上ニ於テ、政府ハドウ云フ方法ヲ執ツテ行ク積リデアルカト云フ御尋ネガアリマシタ、之ニ付キマシテハ既ニ豫算總會等ニ於テ大藏大臣カラモ御答ヘ申上ゲテ居ルト思ヒマスルガ、政府ト致シマシテハ、一方ニ於テハ國民ノ熱烈ナル協力ヲ要望スルト共ニ、從來ノ貯蓄獎勵ノ方法ヲ更ニ一層徹底強化スルト云フ考ヘデゴザイマス、ソレデハ一層強化スルノニ何カ新シイ方法ヲ考ヘテ居ルノカト云フコトニナルノデアリマスルガ、目下政府ニ於テ考究中ノモノモゴザイマスレドモ、只今ハツキリ申上ゲ得ルコトハ、從來全國國民ノ熱誠ナル協力ニ依ツテ貯蓄組合ノ運動ガ非常ニ旺盛デアリマシテ、既ニ全國ニ互リ五十万乃至六十万ノ貯蓄組合ト云フモノガ成立致シテ居リマス、更ニ今回之ニ對シマシテ政府ハ法律ヲ制定致シマシテ、此ノ貯蓄組合ヲ擴充整備スルト云フ方向ヘ向ヒタイ、是ダケハ今日ハツキリ申上ゲ得ルト思ヒマス、其ノ他ノ方法ニ付キマシテハ尙ホ二三考究中ノモノモアリマスガ、只今申上ゲルマデノ段階ニ至ツテ居リマセヌノデ、御諒承願ヒタイト思フ次第デゴザイマス

○世耕委員 今政府委員カラ御説明願ヒマシタ金融關係ノ公債保有額ニ付テ、更ニ昨年ト一昨年トノ「パーセンテージ」ヲ御示シ願ヘレバ結構ダト思フデアリマス

次ニ貯蓄ノ問題デアリマスガ、ドウモ御説明ニ依リマスルト、貯蓄獎勵ノ方法ガ消極的ニ流レテ居ル嫌ヒガアリハシナイカ、國民ノ所得増加、貯蓄ノ増加ニハ少クトモ政府ハ之ニ種ヲ與ヘナクチャナラス、其ノ

種ヲ、何處ニドウ云フ種ヲ民間ニ植付ケョウトシテ居ルノカ、唯蝸ノヤウニ足ヲ食ツテ行クト云フノデハ、此ノ國際情勢ノ變化、多難ナ國事ニ積極性ヲ持チ得ナイノデハナイカト私ハ思フデアリマスガ、此ノ點ニ付テドウ云フ新シイ考ヘヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ、御差支ヘガナケレバ御説明ヲ御願ヒ致シタイ、先程森君ヲ御尋ネ致シマシタシ、私モ御尋ネシタノダガ、廣瀨次官カラハ御説明ガハツキリトシタ所マデ承レナカツタ、實ハ國民所得ノ細カイ議論ノアル所ハ宜シウゴザイマスガ、總括的ニ工業關係ノ所得幾ラ、商業關係ノ所得幾ラ、農業關係ノ所得幾ラ、斯ウ云フ風ニ大摺ミニ分ケテ總計ヲ伺ヘレバ、結局國民全體ノ頭割ノ所得ガ出テ來ルノデハナイカト思フガ、ソレスラ御示シガ出來ナイ、公開ノ席上デハイカスト云フコトナラバ、一ツ委員長ノ御取計ヒヲ以テ、祕密會デモ開イテ説明ヲシテ戴キタイト思フ、ナゼサウ云フコトヲ御願ヒスルカト云フト、今後公債ヲドウ消化シテ行クカ、又國民ガ之ヲドウ盛リシテ行クカト云フコトノ重點ガ此處ニアリハシナイカト私ハ思フデアリマス、又公債政策バカリデナシニ、今後事變處理ノ上ニ重大ナ關係ヲ持ツモノダト思フモノデアリマスカラ、特ニ此ノ點ヲ御願ヒ致シテ置キタイ

次ニ先程御尋ネ致シマシタ所、御説明ガ落チテ居タヤウデアリマスガ、今後ノ公債消化政策ニ付テ、貯金以外ニ何カ新シイ計畫ヲ持ツテ居ルカト云フコトヲ御聽キシタイノデアリマス、例ヘバ公債ノ續發ヲ今後手控ヘル、此ノ限度ニ抑ヘテ、餘ハ稅收入其ノ他ノモノヲ以テ充テテ行ク、或ハ公債政策ニ付テモ低利ノ公債ヲ發行スルトカ、

長期ノ公債政策ヲ執ツテ其ノ對策ヲ立テルトカ、何トカ具體的ノ案ガ、私ハ當然政府ニオアリニナルダラウト思フノデアリマスガ、此ノ點ヲ御差支ヘノナイ範圍ニ、此ノ際御説明ヲ願ヘレバ結構ダト思フデアリマス

○廣瀨政府委員 國民所得ノ內譯ニ付キマシテハ、政府ノ一部ニ於テ算盤ヲ彈イデ、只今御尋ネノヤウナ工業方面ノ所得幾ラ、農業方面ノ所得幾ラト云フヤウナ數字ノ出タモノハ全然ナイコトハアリマセヌ、併シ其ノ數字ノ算定ニ付キマシテハ、マダ各方面ニ於テ種々ノ議論ガアリマスルノデ、其ノ數字ヲ直チニ持チ出スト云フコトハ相當問題デアルト云フ意味合ニ於キマシテ、私共ノ方デモ、自分自身ニ付キマシテモ相當意見ガアリマス、サウ云フヤウナ關係カラ致シマシテ、其ノ數字ヲ政府ノ確定的意見、或ハ見方ト云フ意味合カラ發表スルノハ面白クナイ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ假令祕密會等ノ御要求ガアリマシテモ、本日只今ノ所ハ一寸申上ゲ兼ねルカト思フデアリマス

ソレカラ貯金以外ノ獎勵方法ニ付テ政府ハ何カ考ヘテ居ルカ、例ヘバ公債發行其ノ他ノコトニ付テモ、何カ新シイ方法ヲ考ヘテ居ルカト云フ御質問デアリヤウニ思フノデアリマスガ、先程モ御答ヘ致シマシタヤウニ、只今ノ所デハ別段新シイ方法ヲ執ルト云フ考ヘハアリマセヌ、例ヘバ短期ノ國債ヲ出スト云フヤウナコトハヤライ積リデ居リマス、政府ノ考ヘト致シマシテハ、既ニ御承知ノヤウニ國債ニ付キマシテハ、大體日本銀行引受ノ方法ニ依ツテ之ヲ漸次金融機關其ノ他ヲシテ吸收セシメルト云フ

方法ヲ執リマスル外、他方ニ於テハ貯蓄債券、報國債券等ノ發行ヲ致サセマシテ、此ノ國債ノ消化ト云フ方法ニ依ツテ、目的ヲ達シ得ナイ方面ノ資金ヲ吸收スル、斯ウ云フコトモヤツテ居リマス、ソレカラ又殆ド國債ト同額程度ニ必要デアリマス、生産力擴充資金ノ供給ニ付キマシテハ、一方ニ於テ資金調整法ニ依リ事ノ緩急ヲ計リマシテ、是ガ供給ヲ調整致シマスルト同時ニ、社債ノ發行、借入金等ニ付キマシテモ、出來ルダケ關係方面ノ間ニ於テ連絡ヲ緊密ニ致シマシテ、社債ノ發行等ニ付テハ、昨年カラハ毎三箇月毎、即チ四半期毎ニ計畫ヲ立テテ、資金ニムラノ生ジナイヤウニ出來ルダケ最大ノ效率ヲ擧ゲテ、ソレ等ノ資金ノ供給ヲ圓滑ナラシメルト云フ方法ヲ執ツテ居ル次第デアリマス、尙ホ又會社經理統制令或ハ銀行會社等資金運用令等ニ於キマシテモ、凡ユル機會ニ於テ、例ヘバ一定ノ制限以上ノ賞與ヲ出ス、報酬ヲ出スト云フヤウナ場合ニ於テ、ソレハ國債ナラバ差支ヘナイト云フヤウナ方法ヲ設ケマストカ、或ハハマダ發動ハ致シテ居リマセヌケレドモ、資金運用令等ニ於テ考ヘテ居リマスルコトハ、若シ地方ノ銀行等ニ於テ不必要ナ方面ニ資金ガ運用サレルヤウナ場合ニ於キマシテハ、之ニ對シテ國債ノ消化其ノ他、時局柄必要ナ方面ニ資金ヲ運用スルヤウニ命令ヲ出シ得ル途ヲ開クト云ツタヤウナ方法ヲ講ジマシテ、出來ルダケ資金ノ全國ヲ一丸トシタ計畫ノ運用ヲ致スコトニ努力シテ居ル次第デアリマス

○世耕委員 御説明ヲ承ツテ居リマス、ポイント來ナイ所ガアルヤウニ思フ、説明シナイノデセウド思ヒマスガ、總體的ニ觀

察致シマス、政府ノ公債發行政策ニ對シテハ、私ハ樂觀論ノヤウニ思ハレル、洵ニ樂觀シテ戴クト云フコトハ心強ク感ズルノデアリマスガ、樂觀論ノ其ノ根據ヲ承リタカツタノデス、吾々ノ觀察スル所ニ依リマス、日本ノ産業界經濟界ハ、必ズシモ樂觀ヲ許サナイ狀態ニアルノデハナイカ、既ニ次官ガ御説明ニナツタと思ヒマスガ、貿易狀況カラ見マシテモ非常ニ悲觀スベキ狀況ニアリハシナイカ、之ニ付テ政府ガ種々ナル振興策ヲ圖ツテ居ルヤウデアリマスケレドモ、差當ツテノ見透シニ付テ計算ノ中ニ入レラレナイト云フコトニナレバ、此ノ上ニ國民ニ貯蓄ヲ強イルトカ、或ハ新シク法令ヲ出シテ之ヲ強制スルトカ、又ハ資金ヲ轉用スルト云ウデモ、結局ソレハ絞リ出スダケデアル、本當ニ儲ケテ膨レタ所ヲ絞リ出スノデハナクテ、アルノヲ絞リ出スト云フ消極的ノ政策デハナイカ、ソレデハ今日ノ世界ノ狀況ノ急變ニ對シテモ、吾々ハ力強ク働イテ行クノニ少シ心細イ感ジガ致シマス、恐ラク之ニ對シテハ政府ハ積極的ニ何カ方針ガオアリニナルダラウ、ソレヲ實ハ聽キタカツタ、其ノ點ニ付テ何カ國民ガ期待シテ宜イ心強イ御説明ヲ願フ譯ニハ行キマセヌカ

○松田委員長 一寸速記ヲ中止シテ下サイ

(速記中止)

○廣瀨政府委員 實ハ私ハ其ノ問題ニ付キマシテハ、御答ヘラシタ積リ居ルノデゴザイマスガ、詰リ今日少クトモ十六年ノ年ト云フモノヲ取上ゲテ、此處デ國民ニ向ツテ、物資其ノ他努力、サウ云ツタ方面カラ、積極的ニウント物ガアルノダ、所得モ殖エルノダ、ソレデカラ貯蓄モ出來ルノダト云

ツタヤウナ説明ガ出來ルカト仰シヤレバ、私ハ出來ナイと思フ、ソレデスカラ、ソレニ對シマシテハ、假ニ物ガナクテモ、物ガ少クテモ、窮屈デアツテモ、ソレニ對シテ國民ノ精神力其ノ他ノ方法ニ依ツテ何トカシテ之ヲ多クシテ行ク、ソコニ積極性ヲ認メテ行クヨリ外ニナイノデアリマス、私ハ其ノ點ニ於テ積極性ヲ求メルヨリ外ニ、諸外國カラ澤山ノ物が輸入出來ルトカ、國內ニ於テ生産ガウント出來ルト云ツタヤウナ説明ハ十六年ニ關スル限リハ出來ナイと思ヒマス、隨ヒマシテ此ノ十六年ニ於キマシテハ、國民ハソレデケ我慢ヲシナケレバナラヌ、貯蓄ノ増加ヲ圖ルニ致シマシテモ、或ル程度ノ不自由ハ忍バナケレバナラヌノデアリマス、是ハ覺悟シテ行カナケレバナリマセヌ、其ノ方面カラ言ヘバ消極的デアリマス、消極的タラザルヲ得ナイノデアリマス、併シ其ノ消極的タラザルヲ得ナイ所ニ、尙ホソレデハ積極的ノ方面ガ全然ナイカト言ヘバ、ソレハ精神力、活動力ト云フモノ、能率ノ増進、サウ云ツタヤウナ方面ニ積極性ヲ求メル、尙又十六年度ハサウデアリマスガ、我が國ノ物動計畫其ノ他ハ既ニ御聞及ビデモゴザイマセウガ、將來ニ於テハ光明ガアリマス、其ノ光明ヲ樂ンデ、ソコニ積極性ヲ國民トシテハ持つテ行クヨリ外ニナイノデハナイカ、十六年度ト云フ一年ヲ限ツテ見タ場合ニ於テハ、右モ左モ明ルイト云フコトハ私ハ申上ゲ兼ねルト思フノデアリマス、其ノ點下ウゾ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス、

○世耕委員 此ノ際精神問題ヲ取上ゲテ議論スル積リデハナイノデアリマスガ、サウキ申上ゲタコトト少シ食違ヒガアルカラ、

念ノ爲ニモウ少シ説明ヲ加ヘタイト思フノデアリマス、私ノ言フ精神力ト云フノハ、此ノ事變中ニ物ノ不足ト云フコトガ、一番恐シイ、其ノ物ノ不足ヲバ、充填シテ行カナケレバナラヌ、ソレニハ其ノ物ヲ作ルノ何カト云フト人間デハナイカ、其ノ人間ガ思ヒ切ツテ張切ツタ氣持ニナレバ、物ガ自然ニ出來テ來ルノダ、増産サレルノダ、其ノ物ヲ作ル原動力デアアル國民ノ精神ニ弛緩ガアツタナラ物ハ出來ハシナイ、所ガ遺憾ナガラ是マデヤツテ來タ政府ノ諸政策ハ、國民ノ精神力ヲ寧ロ萎縮セシメテ居リマス、色々ノ觀點カラソレハ申上ゲルコトガ出來ル、餘リニ末梢ニ囚ハレテ、却テ國民ノ協力ヲ俟ツコトヲ得ナイヤウナ所マデ追ヒ詰メテ來テ居リマス、是ハ卑近ナ例デアリマスガ、一例ヲ申上ゲマスナラバ、興亞記念日ニ酒ヲ飲ンデハイカヌ、アレハ餘計ナコトデス、一日酒ヲ飲マナカツタトテ何ニナル、日本人ノ習慣トシテ一日、十五日ニハ神棚ニ神酒ヲ上ゲテ、サウシテ飲ンデ食ツテ大イニ氣分ヲ伸バシテ、アトノ二十八日ニ頑張ツテ増産ヲヤルト云フノガ、是ガ日本ノ古來カラノ習慣デス、ソレヲ「キリスト」教ノ信者ノヤウニ、牧師ノ説教ノヤウニ、オ朝日ニ酒ヲ飲ンデハイカヌト云フ、朝日ニ酒ヲ飲ンデハイカヌト云フヤウナ窮屈ナコトヲ言フカラ、前ノ晩カラ酒ヲ飲ンデ醉拂ツテ居ル、蔭デ酒ヲ飲ム、サウ云フ暗イ氣持ヲ起サシメテ居リマス、是バカリデハナイ、資金調整法ノ問題ニ付テモ、幾多ノサウ云フ例ガアリマス、

私ハモウ少シ之ヲ明瞭ニシテ欲シイト思フ、廣瀨次官ハ此ノ點ニ付テハ御同感ノ

ヤウデアリマスカラ、ドウゾ其ノ氣持ヲ進メテ戴キタイ、國民ガ此ノ事變ニ向鉢卷デ威勢好ク協力出來ルヤウニ持つテ行ツテ戴キタイト云フコトヲ御願ヒシタイ、殊ニ此ノ機會ニ述ベルコトハ適當デナイカ知ラスケレドモ、物價政策ナドモ同様デアリマス、利潤ノナイ所ニ増産ハアリマセヌ、今日米ガ足りナイ、砂糖ガ足りナイ、「マツチ」ガ足りナイ、或ハ木炭ガ足りナイト言ツテ居ル、私ノ生地ハ和歌山縣デ木炭ノ產地デアリマスガ、東京ニ炭ヲ持つテ來レバ損ヲスル、炭焼ハ醉狂デ炭ヲ焼イテ居ルノデハナイ、儲カラナケレバ燒キマセヌ、結局儲カラナクテ、暮シガ立タナイカラ炭焼ハ外ニ轉業シマス、ダカラ炭ガ出テ來ナイ、是ハ精神力デ協力出來マスガ、私ハ出來ナイと思フ、獨リ木炭業者、サウ云フヤウチ生産業者バカリデハアリマセヌ、官吏生活ヲナサル皆サンデモ同様ダと思フ、時局重大デアルカラオ前ノ月給ヲ減ラス、食ヘヌダラウケレドモ我慢シロト云ツテモ、果シテ協力出來マセウカ、私ハ其ノ政策ニ缺陷ガアルト云ヒタイ、公債政策モ今日百億ヤ二百億——日本國民ノ富力カラ言ツテ、愛國心ニ懇ヘテモ、コンナコトハ問題デナイト思フ、ソレヲ急所ヲ壞シテシマフ、急所ヲ憂鬱ニセシメテ居ル、惡イ意味カラ言フト、寧ロ産業、經濟人ヲシテ「サボタージ」ヲ起サシメテ居リマス、現ニ最近ヤツテ居リマス所ノ業界ノ統制廢合ノ如キハ、國民ノ所得竝ニ經濟活動ノ上ニ重大支障ヲ來シテ居リマス、私ハソレヲ調べタ數字ヲ持つテ居リマスガ、是デハ到底今後續發セラルベシト豫想スル公債消化ニハ私ハ悲觀ヲセザルヲ得ナイ、唯一ツ國民ノ精神力ヲ

旺盛ニセシメテ、以テ事變ニ快ク參加セシムル方法ハ精神カノ活潑ニアルト思フノデアリマスガ、ソレニ付テ一ツ十分ナ御留意ヲシテ戴キタイト云フコトヲ特ニ御願ヒシテ置キマス、私ハモウ二三點御聽キシタイノデアリマスガ、材料ヲ要求シタノガ出テ居リマセヌカラ、此ノ程度ニ止メテ置キタイト思ヒマス、ドウゾ其ノ點精神カノ昂揚ドウシタラ精神カヲ萎縮セシメナイカト云フコトニ付テ御考ヘテ願ヒタイ、商賣ガ出來ナイ、商賣ガ出來ナケレバ滿洲ニ行ケト云フヤウナ無責任ナ片付ケ方デナク、ナゼ商賣ガ出來ナイカ、ナゼ營業ガ繼續出來ナイカト云フコトデ、一ツ出直シテ、親切ナ指導振リヲ各省ニヤツテ戴イタナラバ、勃然トシテ私ハアナタノ仰シヤル精神カノ昂揚ガアルモノト考ヘマス、又只今物價ノ問題ヲ申シマシタガ、實ハ今日ノ日本ノ産業經濟界ヲ萎縮セシメ、公債消化ニ對シテ彼此レ言ハナクテハナラヌ原因ハ公定價格ニアリ、低物價政策ニアル、低物價政策ハ私ハ反對デハナイガ、無理解ナル低物價政策デアル、今日ノ凡ユル痛ハ是ニ歸着スルモノト私ハ考ヘテ居リマス、ココヲモウ一遍研究シテ戴キタイト云フコトヲ希望致シマシテ、マダ二三ノ質問モアリマスガ、ソレハ參考資料ヲ戴イテカラスコトニ致シマス

○宇賀委員 私ハ一ツ關聯シテ——只今十五年度ノ國民貯蓄ノ目標ヲ百二十億ニ置イタト云フ、目標ヲ置イタ御話ハ聽イタケレドモ一體十二月三十一日マデニドシテ結果ヲ得ラレタカ、今日マデ御分リニナツテ居ル其ノ結果ヲ御報告願ヒタイト思ヒマス

○廣瀨政府委員 詳細ナル數字ヲ發表致シ

マシタノハ、慥カ十五年度ノ上半期、即チ九月マデノ分ハ既ニ發表致シタト思ヒマス、其ノ時ニハ慥カ豫定ニ對シテ五十何「パーセント」、詰リ一年度ノ半分ト致シマシテハ貯蓄目標ノ半分以上ニナツテ居ル、何「パーセント」カハ上ヘ出テ居ルト云フ發表ヲ致シタ筈デアリマス、其ノ後ニ於キマシテハ、全部ノ資料ガ揃ヒマセヌノデ、マダ各項目ニ分ツタ數字ヲ以テ發表ハ致シ兼ネルノデアリマスガ、十二月マデニ於テ既ニ百億以上ノ國民貯蓄ハ實行出來タコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ、三月マデ、即チ本年度内ニ於テハ百二十億ノ貯蓄目標ハ十分達成シ得ラレルト云フ見込デゴザイマス

○森(警)委員 一寸議事進行デ——私ハ今日初メテ出マシタノデ、ドレダケノ資料ノ要求ガ出テ居ルノカ知リマセヌガ、兎ニ角大藏省カラマダ私共ノ手許ニハ議案以外ニハ何物モ御配付ガナイヤウデアリマス、赤字公債ノ發行ガ始マリマシテモウ既ニ十年ヲ超エテ居ル、其ノ過去ニ於ケル毎年ノ發行豫定額、發行濟額ト云フノヲ年度別ニ一ツ詳シク御示シテ願ヒタイ、ソレト歳入豫算トノ比率、サウ云フモノ位ハ御示シ下サツテモ宜シイノデハナイカ、要求サレタト云フコトデアリマスケレドモ、今日マデ出テ居ナイトナレバ、自然審議ガ遅レテ行クノハ仕方ガナイト思ヒマス、又先程質問ニ應ジテ御説明ニナツタ銀行預金其ノ他ノ數字ノ如キモノモ、是ガ普通ノ議會デアアルナレバ、チヤント前以テ參考資料トシテ御出シニナツテ然ルベキモノデアアル、所謂協力議會、吾々ハ何處マデモ協力致シマスガ、審議ノ資料トナルベキモノハ進ンデ御出シ

下サツテ宜イト思フノデアリマス、何モ無シニ唯話ダケラシテ居ルノデハ甚ダ困ルト思フ、要求サレテ居ルモノデアリマシタナレバ、ドウゾ早く御提出ニナルコトヲ希望致シマス、若シソレニ不足スルモノガアルナラバ、私共改メテ要求スルカモ知レマセヌ、私ハ今日初メテ參リマシタノデ、新タニ要求致シマセヌガ、要求シタモノハ速カニ御提出願ヒマス

○松田委員 星君

○星委員 極ク要領ダケヲ申上ゲマスカラ、要領ダケヲ御答ヘ願ヒタイト思ヒマス、私ハ、今度出マシタ豫算ヲ見マス時ニ、今新體制ヲ叫バレテ居リ、自由主義、個人主義、資本主義ヲ改メナケレバナラヌト言ヒマスガ、此ノ新體制ヲ叫バレテ居ル此ノ議會ニ提出サレタ大藏省ノ豫算ヲ見ルト、政府ノ各省ハ自由主義、資本主義、個人主義ヲ徹底的ニ現ハシテ居ルト私ハ信ジマス、ソレハ豫算ガ之ヲ證明シテ居リマス、今正シナケレバナラヌト云フ時ニ、豫算ノ上ニ自由主義、資本主義、個人主義ガ是正サレテ居ナイヤウニ思ヒマス、ソレハ各省ガ取ツテ居ル所ノ豫算ガ明カニ示シテ居リマス、徒ラニ局課ヲ作り、人ヲ増シ、サウシテ豫算ヲ取ツテ居リマス、此ノ豫算ハ一ツモ綜合的ナ共通のナ所ガナイ、是ハ自由主義、資本主義、個人主義のダト云フヨリ外ハナイト私ハ思フ、是等ノ豫算ヲ整理スルコトハ各省デ個人主義、自由主義、資本主義ヲ發揮シテ居ルノヲ整理スルコトガ新體制デアラウト私ハ思ヒマス、ソレニ付キマシテ、今日戴クコトガ出來ヌナラバ後デ宜イノデスカラ、豫算上ニ現ハレタル各省及ビ各地方ノ官公立ノ研究所ノ金高ヲ部門別

カ、種類別ニシタ研究所ノ豫算ヲ計算シタ表ヲ御示シテ願ヒタイト思ヒマス、私カラドレトドレト言ハヌデモ、賢明ナル大藏省デハ、是ト此レヲ示シテヤツタラ満足スルダラウト御分リニナルト私ハ思ヒマス、之ヲ御願ヒシマス

ソレカラ、今十六年度ノ生産所得ニ付テ確信ヲ持ナイト云フコトデアリマスケレドモ、是ハ確信アル話ヲシテモ私ハ當然宜イト思フノデアリマス、ナゼカト云フト、事變以來ノ歳出ヲ檢討シテ見マス、戰爭ニ使ツタモノト、生産ニ使ツタモノトガアリマス、生産ニ使ツタモノノモ相當ノ大キナ金額ト思ヒマス、ソコデ、日本ト支那ト此ノ接近シタ所ニ於ケル戰爭デアリマスカラ、大部分其ノ金ハ日本ニモ還ツテ來タリスルコトガアルト思フノデアリマスカラ、此ノ事變以來生産ニ投ジタル政府ノ支出、或ハ公債ヲ以テ與ヘタモノカラ言ウテ、今將ニ生産セントスルモノガ茲ニ現ハレララウト思ヒマス、アレバアナタガ今仰シヤツタヤウナ悲觀ノ言葉一ツモ言ハズシテ私ハ言ヒ得ル數字ダト思フノデアリマス、然ルニソレガ言ヘナイト云フコトハ、私ハ甚ダ遺憾デアリマス、私ハ必ズ言ヒ得ルト思フノデアリマス、是ハ議論ニナルカモ知レマセヌガ、ソコデ今昨年末日本銀行ニアツタ公債三十六億幾ラト云フコトデアツタガ、其ノ後ノ消化ノ程ハマダ御話ニナラヌガ、私ハソレハ諄ク聽カウトハ言ヒマセヌ、今何ノ爲ニ日本ハ赤字公債ヲ斯クマデ必要トスルノデアアルカ、是ハ畢竟、曾テハ滿洲ニ於テ、近ク北支中南支ニ於テ新秩序建設ノ爲ニ要スル公債デアリマス、ソレデアラナラバ、此ノ公債ハ滿洲ニ、或ハ北支ニ之ヲ持ツテ行クコト

ハ滿洲ニ、或ハ北支ニ之ヲ持ツテ行クコト

ガ出来マス管デスカラ、持ツテ行クコト
ガ當然ナコトデアリマセスカ、此ノ日本
ニ於テ總テ公債ヲ抱イテ、サウシテ吾
吾ガ之ヲ負擔シナク、レバザラスト云フ
コトガ何處ニアリマセウカ、之ヲ持ツテ
行クコトガ出来ナイヤウナコトデハ、日本
ガ大東亞ノ新秩序ヲ建設スルコト云フ、ソレ
ノ賭ヒニ對スル考ヘガ、大藏省ニ於テ足ラ
ナイデヤナイカト思フ、私ハ是ハ必ズ出来
ルコトデアツテ、當然ナスベキコトデアリ
マス、大藏省ハ此ノコトニ付テ會テ考究シ
タコトガアルカト云フコトモ伺ヒタイノデ
アリマス、御答辯ハ時間ヲ取ルコトヲ恐レ
マスカラ、今日デナクテモ明日デモ結構デ
アリマス

ソレカラモウ一ツ戰時所得ノ話デアリマ
ス、私ハ陸軍省ノ軍務課長サンデスカ、議事
堂デ吾々ニ話ヲサレタ時ニ聽イタコトデア
リマスガ、戰費ハ所得ノ一割何分ニホカ當
ツテ居ナイト云フコトヲ言ツテ、ソレデア
ルガ此ノ位ナコトハ樂ニ繼續シテ行ケル
モノデアルト云フヤウナコトモ耳ニシマシ
タ、其ノ割合ノ數字ハ後日知ル時期ガアラ
ウト思ツタカラ、其ノ時ハ確カメテ置キマ
セヌデシタ、是ハ皆サンノ方デモ分ツテ居
ルコトダラウト思フ、「ドイツ」デモ「イタ
リア」デモ「フランス」デモ英國デモ、軍事
費ハ國民所得ノ何「パーセント」ヲ使ツテ居
ルカト云フコトハ研究サレ發表サレテ居
ル、今度戰爭ニ使ツタモノハ所得ノ何「パ
ーセント」ニ當ルカ、赤字ノ公債ト云フモ
ノハ幾「パーセント」デアルカト云フコト
ガ、茲ニハツキリ出テ來ルト思ヒマス、其
ノ「パーセント」ガ分ツテ、初メテ吾
吾ハドウスレバ此ノ事變ニ百年ノ計畫ヲ以

テ對處シテ行ケルカト云フコトガ現ハレテ
來ルト思ヒマス、今ノヤリ方ヲモツト良ク
シタナラバ、樂ニ希望ト歡喜ニ滿チテ百年
モ繼續スルコトガ出来ルト思フ、此ノ日本
ノ國土ト人トヲ以テスルナラバ、必ズ出来
ルト信ジテ居リマス、併シ今申シタヤウ
ニ、政府ノ豫算ハ、國民ニ新體制ヲ要求シ
ナガラ、自由主義、資本主義、個人主義ヲ
行ツテ居ツタノデハ、私ハ出来ナイト思ヒ
マス、戰時中ノ所得ハ推察スルヨリ外ニハ
アリマセヌ、完全ナ所得ノ計算ガマダ日本
ノ統計ノ行届カナイ現在ニ於テハ出来難イ
コトデアリマセウ、是ハ推察デ宜イノデアリ
マス、大藏省ニ於テハ常ニ此ノ推察ヲ怠ツ
テ居ナイト思ヒマスカラ、其ノ推察デモ宜
イノデス、オ知ラセ願ヒタイト思ヒマス、

私ハ經費使用ニ付キ非難スル者デハアリマ
セヌ、唯ヤリ方ガ惡イト云フコトニ於テ非
難セザルヲ得ナイノデアリマス、之ヲ是正
スルナラバ、モツト朗ラカニ、希望ニ充チ
歎喜ニ滿チテ行ケル管デアリマス、ナゼカ
ト云フト、吾々ハ新秩序ヲ建設スル、所謂
建設事業ニ携ハツテ居ルノデス、「ドイツ」
ト英國トノ戰爭ハ互ニ破壞ヲヤツテ居ル、一
方ニ大キナ建設ヲスルト云フカモ知レヌケ
レドモ、破壊ノ方ガ彼等ノ大キナ結果デア
リマセウ、ソレニ反シテ吾々ハ本當ノ建設
ヲ今ナシツツアル、滿洲ニ於テモ、北支ニ
於テモ、着々建設ヲシテ居リマス、今ヤ海
南島、佛印ニマデ進駐シテ居ルガ、是ハ皆
建設デアリマシテ、大キナ投資ヲシテ居ル
ノデアリマス、其ノ投資カラ來ルモノモ推
察出來ルコトデアリマスカラシテ、國民ハ
此ノ時局ニ歎喜ヲ以テ行ケル管デアリマ
ス、ソレガ行ケナイヤウナコトニシテ居ル

ト云フコトノ大キナ責任ハ、私ハ大藏省ガ
負ウテ貰ヒタイト思フ、何故カ、日本ニ於
テモ、何處ニ於テモ、大藏省程大キナ任務
ヲ持ツテ居ル所ハ私ハナイト思フ、今日ノ
ヤウナ生産機構ニ於テハ、大藏省ガ大キナ
任務ヲ背負ハナケレバナリマセヌ、大藏省
ハ先ノ先マデ見透シテ付ケナケレバナリマ
セヌ、只今ハ臨時軍事費其ノ他臨時費ノ確
定ヲ俟ツテ、初メテ國民貯蓄ノ目標ヲ立テ
ルコトニナルト言ハレタガ、サウ云フコト
デナク、皆サンノ方ニハチヤント肚ガ出来
テ居ルコトデアリマセウ、ケレドモ、一時
サウ云フ答ヲサレタノデアラウト思ヒマ
ス、私ハ大藏省ニ大キナ期待ヲ持ツテ居リ
マス、大藏省ガ此ノ事變ヲ背負ツテ立ツト
云フコトノ責任ヲ取ツテ貰ハナケレバナリ
マセヌ、新體制ハ何カラ來タカ、結局物ノ
不足ガソコニ至ラシメタモノデハナイカ、

物ノ不足ハ今ヤ國民ニ責任ヲ持タセントス
ルヤウニ外觀的ニ思ハレルノデアリマス、
此ノ物ノ不足ハ何處カラ來タカト云フコト
ヲ私ハ確カメテ貰ヒタイ、何處ガ元締ニナ
ツテ行ツタナラバ、此ノ物ノ不足ヲ解決ス
ルコトガ出来ルカト云ヘバ、結局は大藏
省ヨリ外ニナイ、大藏省ニ責任ヲ取ツテ貰
フナラバ、私ハ必ズ出来ルト思フ、農林省、
商工省、皆是ハ大藏省ト關係ノ深いモノデ
アリマス、總テノ生産ハ大藏省ト關係ヲ持
ツテ居ナイモノハアリマセヌ、大藏省ガ此
ノ行詰ツタ物ノ全責任ヲ背負ツテ、農林
大臣モ商工大臣モ大藏省ガ選定シテ、此ノ
人ヲ農林大臣、商工大臣ニスルナラバ、俺
ハ大藏大臣ヲ引受ケルト云フマデニナラヌ
ケレバ駄目ダ、現在ノヤウニ各省ニ自由主
義、資本主義、個人主義ヲ許シテ居ツテ

ハ、絶對物ノ不足ノ解決ハ出来マセヌ、是
ハ大藏省ニ能ク知ツテ頂戴シタイ、英國ノ
憲法ヲ見ルト、總理大臣ガ大藏大臣デアリ
マス、唯大藏尙書ヲ別ニ置ケレドモ、是
ナドヲ見マシテモ如何ニ大藏省ト云フモノ
ノ重要サガアルカト云フコトガ分ルノデス、
然ルニ大藏省ハ唯金勘定バカリノ方ニ廻ツ
テ居ル、算盤ノ出来ルモノナラ誰デモ宜イ
ヤウナコトヲ世間デモ思ツテ居リマス、ソ
レハ間違ヒデアリマス、併シ大藏省ハ本能
的ニ、無意識的ニ其ノ重要ナコトガ分ル
見エテ、比較的大藏省ニハ立派ナ人が集ツ
テ居ルヤウニ私ハ感じマス(笑聲)、又學校
カラモ比較的良好イ人が行クノダガ、行ツタ
ガ最後、餘リ其ノ割合ニドウモ吾々ノ期待
程ニ行ツテ居ナイヤウデアリマスカレドモ、
是ハ眞劍ニ大藏省ニ考ヘテ頂戴シマスヨ、
是ダケノ人がアツテ、是ダケノ人ト國土ヲ
持ツテ居テ、茲ニ行詰ツテ居ル、私ハ理解
ガ出来マセヌ、行詰ツテ居ル理由ヲ發見ス
ルコトガ出来マセヌ、茲ニ大キナ準備ガア
リマスヨ、吾々個人ノ間ニ、銘々ノ間ニ大
キナ準備ガアル、生産擴充ニ對スル大キナ
準備ガアル、所ガ——宜シウゴザイマスカ、
其ノ準備ヲ發見シテ、ソレヲ綜合スル人が
ナイノデアリマス、綜合スル人がナイ、唯
物ヲ造ル、爲ニ自由主義、資本主義ノ頭カ
ラ割出シテ、茲ニ是ダケノ會社ヲ作ラナケ
レバナラヌ、サウシテソレニ政府ガ株ヲ持
ツテ、五倍、十倍ノ社債發行ヲ許シテ、何
處カノ野原ヲ拓イテ、煙突ヲ立テ工場ヲ作
ツタ、サウシタラ一部分足りナイモノガア
ツテ、駄目ダト云フヤウナコトガアル、此ノ
日支事變ハ肇國以來ノ當然來ルベキモノニ
打突カツタノダ、ソレデアルカラ此ノ日本

ハ、絶對物ノ不足ノ解決ハ出来マセヌ、是
ハ大藏省ニ能ク知ツテ頂戴シタイ、英國ノ
憲法ヲ見ルト、總理大臣ガ大藏大臣デアリ
マス、唯大藏尙書ヲ別ニ置ケレドモ、是
ナドヲ見マシテモ如何ニ大藏省ト云フモノ
ノ重要サガアルカト云フコトガ分ルノデス、
然ルニ大藏省ハ唯金勘定バカリノ方ニ廻ツ
テ居ル、算盤ノ出来ルモノナラ誰デモ宜イ
ヤウナコトヲ世間デモ思ツテ居リマス、ソ
レハ間違ヒデアリマス、併シ大藏省ハ本能
的ニ、無意識的ニ其ノ重要ナコトガ分ル
見エテ、比較的大藏省ニハ立派ナ人が集ツ
テ居ルヤウニ私ハ感じマス(笑聲)、又學校
カラモ比較的良好イ人が行クノダガ、行ツタ
ガ最後、餘リ其ノ割合ニドウモ吾々ノ期待
程ニ行ツテ居ナイヤウデアリマスカレドモ、
是ハ眞劍ニ大藏省ニ考ヘテ頂戴シマスヨ、
是ダケノ人がアツテ、是ダケノ人ト國土ヲ
持ツテ居テ、茲ニ行詰ツテ居ル、私ハ理解
ガ出来マセヌ、行詰ツテ居ル理由ヲ發見ス
ルコトガ出来マセヌ、茲ニ大キナ準備ガア
リマスヨ、吾々個人ノ間ニ、銘々ノ間ニ大
キナ準備ガアル、生産擴充ニ對スル大キナ
準備ガアル、所ガ——宜シウゴザイマスカ、
其ノ準備ヲ發見シテ、ソレヲ綜合スル人が
ナイノデアリマス、綜合スル人がナイ、唯
物ヲ造ル、爲ニ自由主義、資本主義ノ頭カ
ラ割出シテ、茲ニ是ダケノ會社ヲ作ラナケ
レバナラヌ、サウシテソレニ政府ガ株ヲ持
ツテ、五倍、十倍ノ社債發行ヲ許シテ、何
處カノ野原ヲ拓イテ、煙突ヲ立テ工場ヲ作
ツタ、サウシタラ一部分足りナイモノガア
ツテ、駄目ダト云フヤウナコトガアル、此ノ
日支事變ハ肇國以來ノ當然來ルベキモノニ
打突カツタノダ、ソレデアルカラ此ノ日本

ノ吾々國民ハ無意識的ニ本能的ニ準備シテ居リマスヨ、見エナイモノヲ視、聞エナイモノヲ聽クノガ、是ガ總理大臣、國務大臣ノ任務ダト思フノデアリマス、ソレガ一向國民個人ノ此ノ無意識的、本能的ノ準備ガ分ラヌ、分ラヌカラ今次官モアノヤウナ御答辯ヲナサツタノダラウト思フノデアリマス、之ヲ大藏省ニ此ノ際責任ヲ持ツテ貰ヒタイノデス、今ハ責任ヲ持ツ人ハ一人モアリマセヌ、戰爭ノ上ニモ物ヲ造ル上ニモアリマセヌ、サウシテ議會毎ニ内閣ヲ送ヘマス、是ハ内閣ヲ送ヘルコトハ大キナ豫算ヲ通過スル爲ニ發明サレタ手段カドウカ知リマセヌガ、結果ハサウ云フコトニナリマス、唯一人責任ヲ持ツ人ガナイ、ダカラ一番大切ナ責任ヲ持テルノハ當然大藏省デアル、商工省デアラウト、農林省デアラウト、ソナモノハ駄目ダ、責任ヲ持ツテ造ルナラ其ノ金ヲ渡シテヤルゾト、其ノ責任ノ上ニ金ヲ與ヘルコトニスルコトガ出來マセウ、此ノ責任ヲ取レル大藏省ガ責任ヲ取ラナイ、唯金勘定バカリシテ、何處カノ出納係ノヤウナコトニナツテ居ルノデスカラ、是ハ一ツ改メナケレバナラス、改メレバ今直グデモ改メルコトガ出來ルカラ、私ハサウシテ貰ヒタイト思フノデス、ソレ等ノ希望ヲ述べマス、批評非難デハ建設ハ出來マセヌ、ドウシタラ宜イト云フコトデナケレバナラス、ダカラ今言フ私ノ御願ヒシタイコトヲ、今日デナクテモ宜イノデス、明日デモ宜イノデスカラ、五分間デモ分リマスカラ、「パーセントー」ハ斯ウダト云フコトヲ一ツ御答ヘ願ヒマス、私ハ御答ヘニ依ツテハ大イニ感謝モシ、満足モスル、サウシテ將來ニ希望ヲ持ツモノデアリマスカラ御願ヒ致シマス

○廣瀨政府委員 星サンノ御質問竝ニ御意見、御意見ノ點ハ十分拜承致シマシタ、御質問ノ點ニ對シテ取敢ズ御答ヘノ出來ル分ダケヲ致シテ置キタイト思ヒマス、政府ガ一番自由主義、資本主義、個人主義デヤナイカ、其ノ證據ニハ局課ノ増設、官吏ノ増員等ガ多イノガ、其ノ一ツノ現ハレデヤナイカ、斯ウ云ツタ御質問ノヤウニモ聞エタノデアリマスガ、御承知ノヤウニ事變ガ段々繼續致シマシテ、時局ガ重大ニナリマス同時ニ、政府ノ色々方面ノ施策ガ増加致シマシレバ、之ニ對シマシテ政府ニ於テモ或ル程度ノ人員ノ増加ハ已ムヲ得ザル所ダト思フノデアリマス、殊ニ色々統制ヲ行ヒマスル際ニ於テ、政府ガ人手ガナカツタナラバ、ソレコソ一番迷惑スルノハ國民デアリマス、即チ認可、許可其ノ他ノ事項ガ徒ラニ机上ニ積上ゲラレルト云ツタヤウナコトニナリマシテハ、ソレコソ民間ノ事業ト云フモノハ「ストツプ」スルノデアリマス、サウ云ツタヤウナ意味合カラ致シマシテ、出來ルダケ寧ロ民間ノ便宜ヲ圖ル意味合ニ於キマシテ、其ノ方面ニ必要ナル人員ヲ斯ウ云フ際デハアリマシタルガ、已ムヲ得ナイモノトシテ増員ヲ致スノデアリマス、併シナガラ御承知ノヤウニ現内閣ガ成立致シマシテカラ後ニ於テ、一方ニ於テハ從來ノ官吏ニ對シマシテ減員ヲ致スト云フ計畫ヲ立テマシテ、即チ本省ニ於テハ大體二割ヲ限度トシ、地方ニ於テハ一割ノ人員整理ト云フコトヲ目標ニ致シマシテ、完全ニ二割、一割ト云フ率ハ各種ノ事情カラ保チ得マセヌデシタガ、十六年度ノ豫算ニ於キマシテハ既定ノ人員ニ對シマシテ、中央地方ヲ通ジテ相當ノ既定人員ノ減員ヲ行ツテ居リマス、一方ニ於テ、勿論是等モ必要デハアリマセヌケレドモ、此ノ時局柄先ヅ急ナモノヲ先ニスルト云フ意味合カラ致シマシテ、一方ニ於テハ増員ヲ致シマスルガ、同時ニ一方ニ於テハ人ヲ減ラシテ居リマス、其ノ點ハ御承知願ヒタイト存ズル次第デアリマス

第二ノ御質問ノ研究所云々ト云フコトニ付キマシテハ、十分私ハ諒解出來ナカツタノデアリマスガ、政府ニ於テ研究費ヲ相當出シテ居ルデハナイカト云フ意味合ノコトデハナカツタノデゴザイマスカ、左様デゴザイマスカ

○星委員 違ヒマス、ソレハ例ヘバ空中窒素ノ研究ヲスルトカ、米ノ増産ヲスルトカ、芋ノ増産ヲスルトカ、「アルコール」ノ製造ニト云フヤウニ各地デ銘々研究シテ居リマセウ、其ノ研究ノ種目、是ガ農産ニ對スル研究デ、農産ノ中ニモ色々アリマセウ、果樹ニ對スル色々研究、又水産ニ對スル研究、新シイ電氣ノ發明ダノ、「ラヂオ」ナリ、色々アリマセウ、ソレニ各省デ使ツテ居ル金ガ何ボニナルカト云フノデアリマス、ソレヲ銘々金バカリ取ツテ、其ノ間ニ連絡モナケレバ協力モナシニ金ヲ使ツテ居ルノデハナイカ、ソレガ自由主義、資本主義、個人主義デハナイカ、斯ウ云フ意味ナンデスヨ

○廣瀨政府委員 大體分リマシタ、其ノ點ハ豫算ノ編成ニ當リマシテハ、各省ノ研究費ニ付キマシテハ、一番綜合的ニ見テ居ルノハ大藏省デアリマス、大藏省ガ豫算査定ノ際ニ於キマシテ、各省ノ間ノ「バランス」ヲ取ツテ、重複ヲ來サナイヤウニ十分注意ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、大藏省ト致シマシテハ、從來ノ多年ノ經驗等ニ照シマシ

テ、最善ノ努力ハ盡シテ居ル積リデアリマス、併シナガラオ氣付ノ點ガアリマスレバ、今後承リマシテ、將來ノ參考ト致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス

ソレカラ十六年度ノ生産所得ノ問題ニ付キマシテ、重ネテ御質問ガアリマシタ生産所得、或ハ國民所得ト云フモノニ對シテ、戰費ガ何「パーセント」ニナツテ居ルカト云フ御尋ネモアツタヤウデゴザイマスガ、是ハ先程カラ度々申上ゲテ居リマスヤウニ、具體的ノ數字ハ申上ゲ兼ネルノデアリマス、隨テ戰費ガ何「パーセント」ニナツテ居ルカト云フコトモ自然申上ゲ兼ネル譯デアリマス、尙ホ私個人ノ考ヘデハアリマスケレドモ、一體戰費ト云フモノハ陸軍省、海軍省所管ノ經費ダケヲ以テ戰費ト云フカドウカト云フコトモ、私ハ非常ニ問題デハナイカト思ヒマス、各省ノ所管ノ經費ノ中ニモ、事變ナルガ故ニ必要ダト云フ經費モ相當アルト思ヒマス、是等モ一面カラ見レバ、廣イ意味ニ於テノ戰費ダト思ヒマス、併シナガラ同時ニ、是等ノ經費ハ差當リ事變乃至戰時ニ必要ナル設備ノ經費デアルガ、事變ガ終リ、或ハ事變ノ程度ガ小サクナレバ、之ヲ一般ノ事變以外ノ生産の方面ニ轉用シ得ルト云フモノモ相當アルト思フノデアリマス、其ノ邊ノ區別ト云フコトハ頗ル困難デアル、相當ハ難カシイ問題デアルト云フ風ニ思ツテ居リマスコトダケヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

次ニ滿洲、支那ニ對シテ公債ヲ普及セシメルコトニ研究努力ヲシタカト云フ御尋ネデアツタト思フノデアリマス、是ハ努力ハ致シテ居リマス、過去ニ於テ努力ヲ致シテ居リマシテ、若干ハ消化致シテ居リマス、

滿洲、北支那、中支那ニ於テモ一部アリマス、公債ノミナラズ貯蓄債券、報國債券等ニ付テモ消化ハ致シテ居リマス、併シナガラ其ノ數字タルヲ遺憾ナガラマダ多クアリマセヌ、大體ニ於テ滿洲、支那等ニ對シマスル關係ニ於テハ、是ハ能ク御存ジダラウト思ヒマスガ、今日ニ於テハ日本カラ資金ガ行ク時代デアリマス、向フデ資金ヲ吸收シテ日本ニ持ツテ來ル時代ト云フヨリモ、寧ロコチカラ資金ガ流レ出ザルヲ得ナイ状態、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、建設時代ト申シマスカ、サウ云ツタ意味ニ於テ、兎角吾々ノ考ヘテ居ル以上ニ向フデ使フ金ガ必要デアル、而モコチラデ調達シテヤラナケレバナラスト云フヤウナ今日ノ状態デアリマス、併シナガラココ一年、二年ハサウ云ツタヤウナ状態デアリマスガ、サウ云フ金デ以テ將來ニ於テハ、滿洲取ビ支那カラ今度ハ日本ニ物ヲ供給スル、其ノ他日本ノ經濟力ヲ培養スルト云フ望ミガアル譯デアリマスカラ、十五年、十六年ト云フ瞬間ヲ押ヘラレマス、是ハマダ日本カラ資金ガ流レ出ル時代デアルト云フコトニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレニ付キマシテ、今日吾々ト致シマシテハ、出來ルダケ土着ノ資本ト云フモノヲ向フノ建設其ノ他ニ使フト云フコトニ、各方面ニ於テ努力ヲ致シテ居リマス、ソレハ即チ一面カラ申シマスレバ、コチカラ流レ出ルモノヲ少クスルト云フ意味合ニ於テヤツテ居ル次第デアリマス、以上大體御質問ノ點ヲ御答ヘ致シタ次第デアリマス

○委員 分リマシタ、要點ダケ言ツテ下サイ、ドウモサウ詳シイ説明ガナクテモ、戦費ガ直接デ幾ラ、間接デ幾ラト云ヘバ、

吾々ニモ大體ハ分リマスカラ、サウクドク御説明ナサラヌデモ宜ウゴザイマスヨ、吾議員ニハモウ少シ時間ヲ節約シテ答ヘテ貰ヒタイト思フ(笑聲)

ソコデ人ガ必要ダト言ハレルケレドモ——私ハ此ノ事變ガ始マルト同時ニ文官ヲ少クシロ、出來ルナラバ半減シロト言ヒマシタ、今日ノ行詰リハ人ガ多イノデ案ガ立タナイ爲デアル、ダカラ文官ヲ少クスルト、文官ノ人ハ結局ノヲ解決スル上ニ於テハ、外カラ民間ノ當業者ニ來テ貰ツテ智慧ヲ借りテ、君ドウシタラ宜イダラウナ、斯ウデハドウカト尋ヌルコトニナルカラ、ソコデ人ヲ減ラセト言フノデアリマス、所ガ人ヲ殖ヤシタ、閣下モ御存ジカモ知レマセヌケレドモ、日本ノ教育ト云フモノハ全ク觀念論一點張りダ、主觀的觀念論ダケダ、其ノ觀念論ヲ學校デ習ツテ來テ、高等文官試験ヲ受ケタ人間ガ寄り合ツテ、其ノ觀念論デ机上ノ上デ案ヲ拵ヘル、ソレダカラ駄目ナンダ、ダカラ人ヲ減ラセバ宜イト言ツタノダガ、閣下ハ人ガ多クナケレバ民間ハ困ルダラウト言ハレルガ、今ハ人ガ多クテ困ツテ居ル状態ダ、之ヲ大藏省ガ觀破シテ欲シイト思フノデス、斯ウ云フ意味デスヨ

ソレカラ今マデノ豫算デス、私ハ明治ノ初メノ頃ハドウダツタカ知リマセヌガ、或ル時ニ豫算ヲズツト續ケテ見タケレドモ、豫算ガ百「パーセント」遂行サレタモノハ何カト云フト、唯官吏ニ拂フ給料ト旅費ト日當、是ハ必ズ百「パーセント」ノ豫算遂行デス、其ノ他ノ生産事業ニ於テ豫算遂行ト云フモノハドレダケアルカ、私ハ一ツモ無イト思フ、一遍モ完全ニ遂行サレタ時ハナイ

ト思ヒマス、此ノ給料、旅費、日當ヲ年度替リニナラウトスル三月ニ於テウント使ツテモ、是ダケハ立派ニ百「パーセント」ニ果シマス、其ノ外ニハ何モナイ、斯ウ云フコトダカラ、今ノ次官ノ御説明ノヤウニ、人多イノハドウダ、斯ウダト云フコトニ、餘程考ヘテ頂戴シタイノデアリマス、ソレデ私ノ最前言ウタ全國ノ研究所ノ豫算表ヲ作ル時ニ、研究系統ヲ立テテ作ツテ貰ヒタイノデス、何處デモ同ジコトノ研究費ヲ要求サレテ居ルヤウニ思ヒマス、例ヘバ東洋文化研究ノ費用デアラウト何デアラウト、各自勝手ニ取ツテ居ルヤウデス、其ノ間ニソレ等ガ寄り合ツテ、協力的ナ綜合的ナ相談ヲシテ居ルカ、君ノ方ハ之ヲヤレ、俺ノ方ハ之ヲヤルト分擔シ合ツテ居ルカト云フト、何一ツナイ、バラ／＼ダ、自由主義、資本主義、個人主義デヤツテ居ルコトヲ豫算ノ全面ニ於テ徹底的ニ明カニ示シテ居ル、之ヲ大藏省ガサウデナイト言フコトハ絶対ニ出來マセヌ、出來マセヌカラ之ヲ改メテ欲シイ、斯ウ言フノデアリマス

ソレカラ今次官ノ仰シヤラレタノハ、支那ニハ金ヲ持ツテ行ク時代デアルカラ、公債ハ云々ト言ハレスマケレドモ、ドウカ時局ヲ本當ニ理解シテ下サイ、支那ト云フ國ハドンナ國デアルカ、吾々ヨリモツト古ク、四千年モ前カラノ歴史ヲ彼等ハ持ツテ居ル、其處ニ日本ガ行ツテ、彼等ノ幸福ノ爲ニ秩序ヲ立テ、生命財産ヲ安固ヲ圖リ彼等ノ發達發展ノ爲ニヤツテ居ル、此ノ大キナ仕事ヲシテ居ツテ、五十億ヤ百億ノ公債ヲ滿洲、北支、中南支ニ之ヲ持ツテ行ク途ガナイ筈ハアリマセヌ、必ズアリマス、ソレヲコツチカラ持ツテ行ツテ、向フヲ援ケルノダ、其ノ中ニ向フガ良クナツテ負擔力ガ出テ來タナラバ、ソレハ又還ツテ來ルカモ知レヌナンテ、ソシナ吞氣ナコトヲ言フコトハ出來マセヌ、又言フベキデハナイ、支那ノ歴史ハ何ヲ示シテ居ルカ、支那ノ歴史ヲ見テモ分ル、蒙古カラ出ヤウガ、滿洲カラ出テ來ヨウガ、アノ少イ人ヲ以テサウシテドンナ統一ヲシ、ドンナコトヲヤツタカト云フコトハ分ル筈デアリマスカラ、何デ今日日本ガ吾々國民ニ此ノ上ニ重イ荷ヲ、重壓ヲ加ヘツツ、所謂自由主義カ資本主義カ、マルデ預金ヲ集メタ銀行ガ預金ヲ引出サレルト困ルト心配シテ居ル、ソシナ頭カラ割出シタヤウナコトデ行クト云フコトハ、根本的ニ間違ヒデアル、ソシナチツボケナコトデハゴザイマセヌ、ソコニ五十億、百億ノ日本ノ公債ヲ持ツテ行ツテ、チヤント之ヲ立派ニ活用スル途ハナイ譯ハアリマセヌ、アルノダカラ考ヘナサイ、考ヘノ不精ハ何ニモナリマセヌ、考ヘレバドンナコトデモ出來テ來ル、吾々ハ歐米人以上ニ良イ頭ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、考ヘテ下サイ、日本人ハ外國ノ眞似ヲスル必要ハナイノデス、日本ニハ英雄豪傑モ要ラナイノダ、唯忠誠ヲ一貫スル、責任ヲ取ル人サハアレバ宜イ、其ノ意味ニ於テ世間ハ何ヲヤツテ居ルカ分ラス、ダカラ此ノ際大藏省ハチヤント肚ヲ決メテ、國民ノ前途ニ大キナ光明ヲ與ヘテ下サイ、ソレハ出來ルコトデアリマス、結局大藏省ハ此ノ個人ノ持ツテ居ル——此ノ時局ハ、肇國以來來ルベキモノガ來タノダカラ、國民ノ間ニ無意識的ニ、本能的ニ準備ガ出來テ居ル、此ノ準備ガ分ツタラ、ソレヲ綜合發揚スルコトガ出來レバ萬事解決ダ、先ヅ物ノ不足デアリマス、物ノ不足ハヤハリ大藏

午後零時十一分散會

省ガ解決ノ任ニ當ラナケレバナリマセヌ、大藏省ハ精神ヲ言フニ及バズ、先ヅ物ヲ片付ケテ下サイ、物ヲ片付ケレバ、自然ニ精神ノ方ハ他ノ側デ良クシマスカラ、先ヅ第一ニ此ノ物ニ付テ大藏省ノ本當ノ、本來ノ任務ヲ自覺シテ戴キタイノデアリマス、デアルカラ私ハ今ノ五十億、百億モ私ニ案ハナイデハアリマセヌ、ガソレハソレトシテ私ノ言フコトハ研究費——各省ニ互ツテ私ガ自由主義、資本主義、個人主義ト非難スル一部ノ研究費ノ内容ニ付テ、何處ト何處ニ共通性ガアリ、ソレガ今ドシナコトヲシテ居ルカラ知リタイノデス、大藏省ハ年々是等ノ研究費ヲ與ヘルカ、其ノ報告書ヲ取ツタコトガアルカドウカ、取ラズニ又次々ニ出シテ居ルデハアリマセヌカ、モウ一ツ序ニ聽キマスガ、事變以來國策會社ガ出來マシタガ、國策會社ニ對シテノ成績ノ報告ガ出テ居リマスカ、聽ケバ軍事ノ秘密ニナツテ居ルト云フ、人造石油デアラウト何デアラウト、秘密ナンゾ言ツテ居ル時デアリマセヌ、此ノ國策會社ノ監督ハ誰ガスルノダ、責任ハ誰ダ、與ヘタ方ノ政府ノ責任ト、ソレヲ貫ツタ方ノ責任ガナケレバナリマセヌ、此ノ責任ヲ糺スト云フヤウナコトハ、是ハ大藏省デナケレバ其ノ糺ス權能ヲ實行スルコトハ出來ナイノデアアル、斯ウ云フコトデアリマス、此ノ大藏省ニ私ハ大キナ期待ヲスル、第一國策會社ヲ御覽ナサイ、監督シテ居マスカ、ドウ云フ監督ヲシテ居ル、貫ツタ者ハドンナ責任ノ報告ヲシテ居ルカ、會テ大正六年ニ國策會社ヲ作ツタ、是ハ藥ニ關係シタ事デアリマス、サウシテ澤山ナ金ヲ與ヘタ、ソレガ今日藥ニ缺乏ヲ來シテ居ル、政府ノ誰ガ責任ヲ取ツタカ、貫ツタ者ノ責任ハドウシタカ、ソレト同ジ事デ、現在ニ於テモ此ノ國策會社ニ對スル金ハ全ク無責任ナ支出デハナイカ、吾々國民カラ見タラ、浪費ト云フヤウナコトデ使ハレテ居ルノデハナイカト思ハレル、ソレヲ是正スルノハ大藏省ダ、物ニハ大藏省ガ責任ヲ負ヘト斯ウ言フノデス、農林省、商工省ニ協力ガナク、バラ／＼ニヤツテ居ルデハナイカ、左モナクバ物ハ出來ル筈デス、全體主義ト政府ガ言フ——日本ニ全體主義ガナイト平沼サンハ言フカラ、協力デ宜イ、協力主義デ行カウト言ツタツテ各省ノ是デハ駄目デヤナイカ、此處ニオイデノ大藏省ノ人々ハ皆私ハ偉イ人ト信ジテ居リマス、皆サンドウゾ此ノコトニ付テ大藏省ハウント肚ヲ決メテ下サイ、サウシテ此ノ議會ニ於テモ或ハ本會議ナリ、或ハ豫算委員會ナリ何カノ機會ニ於テ、大藏省ハ責任ヲ以テ是デ行クカラ安心シテ來イ、オ前等ノ貯金ハ皆公債ニセヨ、全部公債ニナツタツテ安心シロ、オ前等ノ子孫ガ大キクナツテ學校ヘ行ク頃ニハ立派ナ學校ガ澤山出來、立派ニ教育モ出來ルカラ安心シロ、斯ウ云フコトヲハツキリ言ウデ貫ヒタイ、其ノ責任ハ大藏省ニ取ツテ貫ヒタイト云フコトヲ御願ヒシマス、是デ私ノ質疑ヲ終リマス

○松田委員長 質問ノ通告モマダ資料ガ手ニ入リマセヌノデ、餘リ申出モナイヤウデアリマス、是デ本日ハ散會致シマシテ、明日ハ本會議ガアル日デアリマスカラ、午後一時カラ始マルカト思ヒマス、ソレデ一旦議場ニ御入り願ツテ、法案ガ或ハ又此ノ委員會ニ併託ニナルカモ知レマセヌカラ、其ノ上デ午後二時カラ此ノ委員會ヲ開會致スコトニ致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス